

2013年10月24日
第28回会合（公開版コンファレンス）

今後の金融市場パネルの課題 — 金融規制・監督の視点から —

リコー経済社会研究所 主席研究員

神 津 多可思

RICOH

- (柔軟な)インフレ目標

- ゼロ金利
- 量的緩和

- フォワード・ガイダンス
 - コミットメント
 - リソリューション？

日本・ドイツ・米国の長期金利

長期国債利回り(10年物)



(出所)FRB、Deutsche Bundesbank、財務省

日本の銀行に対する長期金利上昇の影響

日銀・金融システムレポート・2012年10月

日銀・金融システムレポート・2013年4月

図表 V-1-12 金利上昇による債券時価と Tier I 比率への影響

大手行

	2011年度末 (基準時点)	金利上昇幅		
		1%	2%	3%
債券時価損失(兆円)	—	3.7	7.0	10.3
Tier I 比率(%)	12.6	12.6	12.1	11.4
変化幅(%pt)	—	0.0	▲0.5	▲1.2

地域銀行

	2011年度末 (基準時点)	金利上昇幅		
		1%	2%	3%
債券時価損失(兆円)	—	3.0	5.6	8.1
Tier I 比率(%)	10.0	9.9	9.0	8.0
変化幅(%pt)	—	▲0.1	▲1.0	▲2.0

(注) Tier I 比率の変化幅は基準時点(11年度末)から1年間の変化幅。有価証券含み益・期間収益・税効果を勘案したベース。

(資料) 日本銀行

図表 V-1-10 金利上昇に伴う債券時価の変動

(兆円)

		金利上昇幅		
		1%pt	2%pt	3%pt
国際統一基準行	ステイプ化	▲1.7	▲2.1	▲3.6
	パラレルシフト	▲3.2	▲6.2	▲8.0
国内基準行	ステイプ化	▲1.9	▲2.8	▲4.2
	パラレルシフト	▲3.4	▲6.3	▲8.6

(注) 集計対象は大手行と地域銀行。

(資料) 日本銀行

➤ 準備預金

➤ リスクベースの自己資本比率

➤ レバレッジ比率

➤ 流動性カバレッジ比率

➤ 安定調達比率

ありがとうございました

神 津 多可思

リコー経済社会研究所 主席研究員

〒100 - 0005 千代田区丸の内 1 - 6 - 5 丸の内北口ビル 20F

Tel: 03 - 6278 - 4837 (直通) Fax: 03 - 3216 -5085

e-mail: takashi.kozu@nts.ricoh.co.jp